企業・団体名（　ダイドードリンコ株式会社　中部営業部　長野オフィス・松本オフィス　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	「人事基本理念」を策定し、従業員がダイナミックに働き、ビジョンを実現する喜びを感じられるような環境づくりに努めています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	コンプライアンス経営を推進していくため、ダイドー･コンプラホットラインを設置しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･勤怠管理システムで時間外労働を管理しています。 ･長時間労働者への対応に関する取り組み（所属長へのアラート発信）								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	性別･年齢･出身地･国籍･人種･民族･信条･宗教･疾病･障がい等による差別をせず、人権及び個人の能力を尊重しています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･ダイドーグループ健康宣言を制定 ･定期的に職場安全衛生点検を実施しています。 ･「カフェインナップ」で生産性向上を促進しています。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･定期的に所属長との面談を実施しています。 ･全従業員を対象にストレスチェックを実施し外部の健康相談窓口を設け、従業員の心身の健康維持･増進に向けたサポート体制を構築しています。 ･メンタルヘルスに関する研修（eラーニング）を受講			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	ダイドーグループ行動規範を定め、従業員の多様性、人格･個性を尊重する職場環境の整備に努めています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･各階層で必要となる知識や考え方の理解促進を目的とした階層別研修と、専門スキルの習得を目的とした部門別研修を実施しています。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	評価にあたっては、性別、年齢、人種、国籍などの属性に関わりなく、一人ひとりの能力と遂行した業務の成果を公正に評価しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	2021年,健康経営優良法人2021（大規模法人部門）に認定されました。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	役割を十分に果たした自販機の再資源化できるものは可能な限り分別し、リサイクルしています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	「省エネ法」に則り、エネルギー実績の把握を行っています。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･社用車に低燃費車を積極的に導入するとともに、エコドライブ活動を推進しています。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･購入必須の製品については、グリーン購入など環境に優しい製品を優先して購入することを推奨しています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･CO2を吸収する森林を保護するため、「緑の募金」ができる自販機の設置を進めています。 また、従業員による森林保全活動を実施しています。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	2020年　容器包装の基本方針を策定し「2030年達成目標」を設定												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	放射性物質測定器を用いて、すべての製品や製品に使用する水について定期的に安全性を確認しています。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	効果的な環境管理活動を推進しています			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	自社ホームページで環境の取り組みを正しく開示しています。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	2002年に清涼飲料業界で初めて「グリーン電力証書システム」に参加し、風力によるクリーンエネルギーの活用により、毎年約400tのCO2排出量削減に貢献しています。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	･自動販売機の再生や長寿化によって、資源循環型社会の実現に貢献しています。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	グループ行動規範を策定し、周知を図っています。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	グループ行動規範を策定し、周知を図っています。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･ソーシャルメディアを利用するにあたって遵守すべき姿勢や行動、基本原則を「ソーシャルメディアポリシー」として策定しています。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	当社グループが扱う全ての個人情報及び特定個人情報の重要性を尊重し、その保護の徹底を図るために、プライバシーポリシーを定め、これに基づいた活動を実施しています。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	･コンプライアンスを遵守した経営を行っているパートナー企業（調達先）とのみビジネスを展開しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	原材料調達において、商品開発における安全性評価や原産地･加工工場への現地視察、原材料の受入検査等を実施しています。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	商品の企画段階から必要となる原材料に目を向け、原材料規格書や品質規格書（品質保証書）をチェック。法令に適合した原材料であることはもちろん、残留農薬やアレルギー物質など安全･安心に関わる情報を確認しています。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	自販機の省エネ化、使用年数の長寿命化および、飲料容器の軽量化等を実施しています。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	企業や自治体などの課題解決をテーマにした自販機設置の提案活動を行っています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	継続的な社会貢献の実現を目的とした「地域コミュニティ貢献積立金」を活用した取り組みに参画し、良き企業市民として、地域コミュニティの活性化に貢献します。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	森林づくりに役立てられる「緑の募金自販機」を展開し「長野県緑の基金」へ寄付しています。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	2003年より長野県東筑摩郡朝日村と森林の里親契約を結び、従業員自らが“森林整備隊”として活動しています。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	理念については、社員手帳や社内掲示板に掲示し、広く社員が確認できる環境を整えています。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	･グループ行動規範を策定し、周知を図っています。 ･毎月発信される「コンプライアンス通信」を部内で共有する体制を構築しています。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	当社グループの持続的成長の実現と中長期的な企業価値向上のため、2019年1月、ダイドーグループHDコーポレートコミュニケーション部にＥＳＧ推進グループを設置。社内連携強化に努めています。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	関連する法令を遵守しながら営業活動を行う体制を整備しています。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リアルタイムに営業現場の情報が共有できる体制を整備しています。リスクマネジメントの徹底に努めています。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	継続的な社会貢献の実現を目的とした「地域コミュニティ貢献積立金」を活用し、良き企業市民として、地域コミュニティの活性化に貢献します。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	･災害時のハザードマップを作成し、事業継続に向けた対応を準備しています。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	経営幹部育成を目的とした人材育成プログラム研修に積極的に参加しています。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）